

きらめき通信

33

相和小学校放課後教室
発行日 2019.3.1
発行責任者 野地 泰次

あっという間に1年が・・・

早くも、3月の声が届きました。
1年の時の流れの速さを感じているのは、私だけではないかと思えます。
子どもの成長も早く、1年前の写真とはずいぶん違う表情をしています。それだけお兄さん、お姉さんになっているということでしょう。(内面は全然なのに・・・なんて言わないでくださいね)

1年間の放課後教室のご利用、ありがとうございました。

子どもが、安心して過ごせる場、楽しさを感じる場、そして人と人とのつながりを感じる場となるよう努めてきたつもりです。様々な出来事がありました。常に考えてきたことがこういったことです。みなさまにその感覚が伝わっていただけたら幸いです。



満杯の日もありました

授業参観や懇談会のある時は、図書室のいすが満杯の状態です。これはこれで、子どもたちも楽しいようで、勉強よりおしゃべりに花が咲く・・・なんてことも見られます。学校にいても学校とは違う、そんな感覚が微妙に動きを左右させているように思います。



自治能力を高めていきたい



あるときの放課後教室。子どもたちにトラブルがあったようで、グラウンドの端に集まって話し合っていました。どうしたのかな、と近づいて行ったのですが、足を止め、見守ることにしました。今、私が行って解決するより、時間がかかっても自分たちで解決していった方が、子どもたちの力になっていくと考えたからです。

結果は、あまり芳しいものではなかったようですが、それなりの結論に達したようです。あとで子どもたちの一人に聞きました。

自分たちで、または自分でなんとかしていく、その自治能力の一部を育てられたらいいのだが、と考えています。大人の都合ということ押し付けるのは、いつまでも独り立ちできなくさせているように思うのですが・・・

片付け

片付けは、次の作業の準備である

この言葉は、タレントの所ジョージさんがつぶやかれた言葉です。車をいじったり野良仕事したり、いろいろなことにチャレンジしている所さんは、いつも作業場をきれいに片付けることを意識しているようです。

そんな所さんの作業場を訪れたほかのタレントさんが「所さんの作業場は、とてもきれいですね」と言ったときにこの言葉で答えられたのです。ほんとにそのとおりだと思い、ずっと心に刻んできたことです。

そういえばある部品工場を見学したとき、そこで働いている人が、手がすくと箒をもって床を掃いています。あちこちでその光景が見られるので尋ねてみました。

「私たちは、精密機械の部品を作っているのです。100分の1ミリの誤差があると不良品になってしまいます。その工場が汚れていたら、小さなゴミや傷を見過してしまういい加減さが出てしまいます。ですから『整理・整頓・清掃・清潔』の4Sにいつも心がけ、良い製品を作ろうと取り組んでいるから、掃除をいつもやっているのです」

という答えが返ってきました。

ものすごく心に響きました。

神は細部に宿る。そういうことです。

放課後教室でも、片付け(原状復帰)を徹底させています。お迎えに来られた時に、子どもが出ていくのに時間がかかるのはそのためです。ぜひご理解いただきたいと思います。